

平成 31 年度 経営計画

1. 業務環境

1) 地域の景気動向

県内経済は全体として緩やかに回復しつつあるものの、個人消費では百貨店・スーパーの販売額が低迷しており、生産活動においても回復していますが、生産用機械では一部の海外需要に一服感がみられることからやや弱い動きとなっています。雇用情勢も着実に改善している反面、人手不足感が強まっているなど、地域の景気動向は依然として力強さが感じられません。

先行きについては、各種政策効果などを背景に、県内経済は回復の動きが強まっていくことが期待されます。ただし、相次いでいる自然災害の経済に与える影響や、通商問題・海外経済の動向等に留意する必要があります。

2) 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

中小企業・小規模事業者の景況感については改善傾向にあるものの、原料高や人手不足による人件費の上昇など利益圧迫要因が多く存在し、特に体力の乏しい中小零細企業はこれらの課題に対応できないような状況も見受けられ、業況低迷が懸念されます。

また、後継者候補が存在しない事業者も多く、事業承継に大きな課題があり、廃業等により県内中小企業者数は減少しています。加えて10月の消費税増税を控え1年後の景気見通しには弱さが見られ、中小企業・小規模事業者の事業環境は依然として厳しい状況です。

2. 業務運営方針

1) 地方創生に貢献すべく、国・地方公共団体の中小企業施策に則し、引続き金融機関との連携強化を図り、中小企業・小規模事業者のニーズに応え、資金繰りの円滑化に寄与するとともに、経営支援と事業再生を推進し、経営改善・生産性向上を促進します。

①金融機関との連携を一層強化し、保証付き融資とプロパー融資を適切に組み合わせ、中小企業・小規模事業者に対し必要十分な資金供給を行います。

②関係機関との連携・協力を進め、中小企業・小規模事業者のライフステージに応じたきめ細かな支援を積極的に取組みます。

③中小企業者等の事業性を評価した金融支援・経営支援を行い、条件変更先等の正常化・ランクアップを促進します。

④経営支援強化促進補助金を活用し、保証利用先の経営の安定化・円滑な事業承継を支援します。また、地域経済の活性化に寄与するため、創業支援を積極的に取組みます。

2) 顧客サービスの拡充を図り、親切・丁寧・きめ細やかな対応を心がけて適切な業務運営にあたります。

3) コンプライアンスについては、「コンプライアンス・プログラム」に基づく活動を着実に実施します。

3. 具体的な課題と解決のための方策

1) 保証利用の推進を図る取組み

- ①主要金融機関本部や店舗を訪問し、保証付き融資に係る取組み状況やリスク分担について情報交換を行い、信用保証の推進を実施します。
- ②金融機関等から中小企業者の資金ニーズを把握し、利便性の高い保証制度の創設・改訂を行います。
- ③金融機関や関係機関との情報交換会や業務説明会等の開催により連携強化を図り、保証制度等の周知および信用保証の推進を実施します。
- ④各種保証先リストを活用し、保証利用の維持・拡大に取り組めます。
- ⑤金融機関向けの合同審査勉強会を開催します。

2) 金融支援と経営支援の一体的取組み

- ①保証・条件変更申込における実地調査、「経営サポート会議」の開催、「ローカルベンチマークシート」を活用した専門家派遣事業「わかやま連携サポート」により、一層保証利用者の実態把握や事業性の評価に取り組めます。
- ②経営改善が必要な事業者に対し、「経営改善サポート保証」、「条件変更改善型借換保証」等を積極的に提案します。
- ③金融支援と経営支援が一体となった政策保証やライフステージに応じた保証制度等の浸透を図るため、金融機関等向け業務説明会を実施します。
- ④資金調達に不安を抱える中小企業者に対して、適切なアドバイスや金融機関の紹介を行います。

3) 創業支援の積極的な取組み

- ①金融機関、和歌山県よろず支援拠点との連携を一層強化し、創業保証制度の利用促進を行います。
- ②「創業支援セミナー」を和歌山市と新宮市で開催します。
- ③創業保証を利用した事業者に対し、外部専門家による経営診断などの創業者フォローアップ支援を実施します。
- ④独力で創業計画策定が困難な創業希望者に対し、外部専門家による創業計画策定支援を実施します。
- ⑤和歌山県、創業支援セミナー in わかやま実行委員会が実施する創業イベントに参画します。

4) 顧客目線に立ったサービスの拡充と個人情報の管理

- ①「McSS経営診断報告書」の周知を図り、多くの中小企業・小規模事業者にも活用してもらい、顧客サービスの拡充に努めます。

②ファイリングシステムの運用などにより、適切に個人情報の保護・管理に取組みます。

5) 経営支援・再生支援の充実・強化

①主要金融機関と連携・協力を図り、「ローカルベンチマークシート」を活用した専門家派遣事業「わかやま連携サポート」や国の「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」を提案し、和歌山県中小企業再生支援協議会とも一層連携を深め、経営支援・再生支援に努めます。

②国の「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」の利用者で修正計画策定が急務な事業者に対し、外部専門家による修正経営改善計画書策定支援を実施します。

③外部専門家や地域金融機関と連携・協力し、「経営相談会」を開催します。

6) 条件変更先等の正常化・ランクアップの取組み

①金融機関と連携・協力して条件変更先の実態を見極め、借換保証等による弁済の正常化に努めます。

②原則、初回条件変更申込先を現地調査し、状況把握に努め、各種経営支援策を提案します。

7) 生産性向上・事業承継支援の取組み

①「ローカルベンチマークシート」を活用した専門家派遣事業「わかやま連携サポート」により、生産性向上や事業承継に必要な保証の取組を実施します。

②「事業承継セミナー」を和歌山市と御坊市で開催するとともに、金融機関や和歌山県事業引継ぎ支援センターと連携・協力を深め事業承継支援に取組みます。

8) コンプライアンス態勢強化に向けた役職員への浸透

「コンプライアンス・プログラム」に基づく活動を着実に実施し、コンプライアンスのより一層の浸透と実質的な機能充実のため、諸規程等の周知および研修により役職員のコンプライアンスに対する意識向上を図ります。

9) 反社会的勢力の不正利用防止および排除

定期的に反社データの活用によるスクリーニングの実施および関係機関との連携強化による反社会的勢力からの不正利用防止などに取組みます。

10) 各部門における効率的かつ適正な業務運営の促進

計画的に内部監査を実施し、リスク管理状況および業務改善などについて適切に助言を行い、効率的かつ適正な業務運営の促進を図ります。また、個人情報等についても定期的な点検・監査を行い、適正な取扱いおよび保護に取

組みます。

11) 電算システム(ORBIT)の安定運用と効率的活用

日常の業務運用を通じ効率的な活用を探ると共に、災害対策を含むバックアップ体制を整備し安全な運用を行います。

12) 情報発信力の強化

信用保証協会の公共性や保証制度等について、メディアの多角的利用をもって積極的な情報発信に取り組めます。

4. 保証承諾等の見通し

平成31年度の保証承諾等の主要業務数値（見通し）は、以下のとおりです

項 目	金 額	前年度計画比
保 証 承 諾	710億円	97.3%
保 証 債 務 残 高	2,060億円	94.9%
代 位 弁 済	30億円	85.7%
回 収	8億円	88.9%